



国際交流ラウンジの友達と花見を楽しみました

ABPプログラムを通じて、幅広い知識と高度な専門性を得つつ、さまざまな国の人と交流する貴重な経験ができ、定期開催される県内企業との交流会も就職活動に役立ちました。

今、海外とやりとりが多いグループでシステムエンジニアをしています。将来はシステムコンサルタントとして活躍したいと考えています。

Vol.8

将来は システムコンサルタントに

ヴ クアン ズイ(ベトナム出身)

情報学部情報科学科(2024年卒業)

2024年10月より株式会社ヤマハコーポレートサービス 勤務

ICTや数理から脳・認知に至る最先端テクノロジーを学べる上、ものづくりのまち浜松で世界を代表する企業と触れ合えと思い、静大に入学しました。大学では、県内製紙企業との共同研究で、時系列データの可視化・センサー間の相関分析を行い、深層学習モデルを活用して異常の事前予測を研究しました。また、国際交流ラウンジで多くの日本人・留学生と接する中で、コミュニケーション能力も向上しました。



母国で試験前によく行ったVan Mieu文廟



アジアブリッジプログラム(ABP)は、静岡県とアジア諸国の架け橋として活躍する人材を育成するため、企業や自治体と連携して、静岡大学で学ぶ留学生を応援しています。ご支援いただいている企業の皆様への感謝を込めて、活動をご報告します。



静岡大学では、持続可能な社会の実現を目指し、社会課題に多面的・戦略的にアプローチしています。今回は、SDGsをテーマに開催した英語スピーチコンテストをご紹介します。

本取組に関するSDGsのロゴ



「より良い地域社会に向けたアクション」を英語でスピーチ ～グローバルに考え、ローカルに行動するグローバル人材を育てる～

大学教育センター英語科目部

大学教育センター英語科目部は2024年12月19日、第1回静岡大学英語スピーチコンテストを開催しました。「より良い地域社会に向けた私のアクション」をテーマに、予選を通過した7名が自身の経験を交えて5分間の英語スピーチを行いました。

会場には、学生や教職員など75名が集まり、発表者ごとに「お互いに支えあって生活している社会を私も作り上げたい」「聞き手のことを考えた良いスピーチだった」「英語をもっと勉強しようと思った」などのコメントを貼付。その数は304枚にのぼり、身近なSDGsを英語で考える、学びの多い時間となりました。開催の目的は、グローバル人材の育成と英語学習の成果披露、英語力向上です。今年も開催予定ですので、学生の皆さんぜひご参加ください!



コンテスト終了後に記念撮影



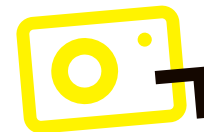
コメントを書いた付箋を貼る参加者たち



「SNSを活用し、魅力をグローバルに発信して地域活性化を」と語る
第一部門(国外滞在2年未満の部) 最優秀賞
工学部 鶴貝悠生さん



「『大丈夫?』の声掛け1つが、メンタルが苦しいときには大きなサポートになる」と語る
第二部門(国外滞在2年以上の部) 最優秀賞
グローバル共創科学部 山本エマさん



静岡大学学生 フォトコンテスト2024 受賞作品介绍

学生目線の静岡大学の魅力を広く発信することを目的に、学生フォトコンテスト2024を開催しました。たくさんの応募の中から選ばれた、受賞作品の一部をご紹介します!



その他の受賞作品は
こちらから



グランプリ

「Sunset from informatics building」

総合科学技術研究科 ARIJIT DASさん

「I am very happy; it was the first time I participated in a photography contest. This is surely one of the best photos I have taken. (とてもうれしいです; フォトコンテストに参加したのは初めてでした。この作品は、間違いなく私が撮った中で最高の写真の1枚です。)」



学長賞

「飛んだ!」 工学部 I.Kさん

「静岡大学ヒコキ部は、毎年夏に行われている鳥人間コンテストを目指し日々設計・製作・運用を行っています。写真は、'24年度機体が初めて浮上した際のもので、近年は浮上にも苦労していた弊社悲願の瞬間とその喜びが皆様にも伝わっていると思います。今年も応援よろしくお願いします!」

しずだい
PRサポーター
賞

「視線」 総合科学技術研究科 仲野 雄真さん

「よさこいの魅力を伝えられる写真を撮影したいと思い撮影しました。よさこい楽しいので、皆さん見てください!!」



広報
戦略室長
賞

「七色の空といつものキャンパス」

教育学部 松山 明日香さん

「夜遅くまで大学に残って勉強していたときに、ふと窓を覗いたら幻想的な夕日が見えたので、この瞬間をカメラに収めたいと思って撮影しました。この写真を撮影した教育学部棟へ登校するには、毎回急な坂や階段を登らなくてはいいませんが、この景色を見ることができるのは、静岡キャンパスに通う人の特権だと思います。」

